

OTABISHO

2024 4.14 sun.

観覧無料

祝祭、はじまる

【三番三／三番叟】

茂山千之丞・
野村万之丞 ほか

13:00 START

演出——多田淳之介
舞台美術——濱崎賢二

横浜能楽堂

オー。フニング

パフォーマンス

ランドマークで



撮影：八木洋一

提供：萬狂言



【お練り】

提供：森ノオト

当日12:15より

桜木町駅前広場～動く歩道～サカタのタネガーデンスクエアを
獅子舞や笛・太鼓などの祭囃子が練り歩きます。

会場：ランドマークプラザ 1F
サカタのタネガーデンスクエア

お問合せ：OTABISHO 横浜能楽堂

TEL.045-263-3055 (平日9:00～17:30)

<https://yokohama-nohgakudou.org/>

主催：横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

広報協力：横浜みなとみらいホール



横浜能楽堂
Yokohama Noh Theater

4月18日、ランドマークプラザ5階にOTABISHO 横浜能楽堂がオープンします。
 そのオープニングを祝し、ランドマークプラザ1階のイベントスペース・サカタのタネガーデンスクエアにて、
 パフォーマンスを行います。OTABISHO 横浜能楽堂の入るランドマークプラザまでお練りをし、その後、
 「三番三／三番叟」を上演します。獅子舞や笛・太鼓など祭囃子のお練りと、ドンドンと地を踏み鳴らすよ
 うな躍動感のある「三番三／三番叟」で、OTABISHO 横浜能楽堂が華々しく幕を開けます。



- 1 桜木町駅前広場
- 2 動く歩道
- 3 ランドマークプラザ1階
サカタのタネガーデンスクエア
「三番三／三番叟」

郷土芸能による
お練り・パフォーマンス
 ※雨天の場合はルートが変わる
場合があります。

アクセス：桜木町駅(JR・市営地下鉄)から動く歩道で徒歩5分。
 みなとみらい駅(みなとみらい線)から徒歩3分。
 ※その他のアクセスは、横浜ランドマークタワー HPをご確認ください。



お練り

出演：横浜市内で郷土芸能を継承・活動する団体

土師流郷神楽 (はじりゆうさとかがら)

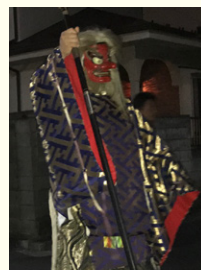
矢向日枝神社(鶴見区)を拠点に神楽を演じる団体。横浜市無形民俗文化財認定。

生麦囃子保存会 (なまむぎはやしほぞんかい)

生麦(鶴見区)の町に江戸時代から続いている郷土芸能。横浜市無形民俗文化財認定。

牛込獅子舞保存会 (うしごめししまいほぞんかい)

牛込(青葉区)で江戸時代から始まり、形を変えながら300年続いている。神奈川県指定無形文化財。



土師流郷神楽



生麦囃子保存会



牛込獅子舞保存会

提供：森ノオト

出演：茂山千之丞、野村万之丞

笛：森田保美 小鼓：田邊恭資・清水和音・大倉倫士郎 大鼓：大倉慶乃助

お正月や柿落しなど祝祭の場で上演し、五穀豊穡を祈願する演目。前半は揉の段と呼ばれ、ドンドンと地を踏み固めるような躍動的な舞が特徴的。後半は黒式尉と呼ばれる黒い能面をつけ、鈴を持ち、種をまくような所作が特徴的なすがすがしい舞となります。

今回は、茂山千之丞、野村万之丞の両者が並んで舞うことで、未来に向けて千年も万年も能・狂言が豊かに栄えていくことを願います。



茂山千之丞 (しげやま せんのかう)

1983年生まれ。江戸時代初期からの歴史を持つ京都の茂山千五郎(せんごろう)家の一員として、狂言の活動を行うほか、作・演出を手がける新作「純狂言」集「マリコウジ」、コント公演「ヒヤクマンベン」の活動も行う。2018年に三世茂山千之丞を襲名。



野村万之丞 (のむらまんのかう)

1996年生まれ。300年の歴史を持つ野村万蔵(まんぞう)家当主の長男。弟の拳之介、眞之介とともに、ふらっと気軽に楽しめる敷居もフラットな「ふらっと狂言会」を企画・出演する。2017年に六世野村万之丞を襲名。

OTABISHO
横浜能楽堂
Instagram
始めました!



4/18[木] OTABISHO 横浜能楽堂 OPEN!

ちょっと覗いてみる気軽さで、日本の古典芸能 能・狂言に出会える場

11:00~20:00

能・狂言にもっと気軽に親しんでほしいと、横浜能楽堂は休館中、OTABISHO 横浜能楽堂 をランドマークプラザ5階にオープンします。「見る・知る・体験する・学ぶ」の切り口で、能装束や能面、楽器などを展示するほか、体験講座などを開催。買い物ついでに、お仕事帰りに、通りすがりに、気軽にお立ち寄りください。能・狂言にまつわるグッズも販売しています。和のテイストでちょっとした手土産にもぴったりです。

入場無料